

現代アートの国際展覧会 岡山芸術交流 2016 本物の蜂の巣を使った彫刻『Untilled』が登場

2016年10月9日(日)より、芸術を通じて国境や文化、世代を超えた様々な交流が生まれることを目指す、第1回目となる現代アートの大型国際展覧会「岡山芸術交流 2016」が開催されます。株式会社 山田養蜂場(本社:岡山県苫田郡鏡野町 代表・山田英生)では、この岡山芸術交流への協賛として、フランス人作家ピエール・ユイグ氏の本物の蜂の巣を使った作品「Untilled(未耕作地)」の制作への協力を行いました。同作品は、開催期間中[2016年10月9日(日)~2016年11月27日(日)]、林原美術館(岡山市北区丸の内2-7-15)で展示されます。

◆当社が協力した背景、目的

「世界的な作家によるミツバチを使った芸術作品を、養蜂が盛んな岡山で展示したい」との実行委員会からの依頼を受けたことがきっかけです。当社は「社会性の生き物と呼ばれる、ミツバチを通じて、自然環境の大切さを啓発したい」と考えております。岡山芸術交流の目的や作品のコンセプトが、その当社の考えに合致すると考え、協力いたしました。

◆当社が協力した作品情報

・作品名 : 「Untilled(未耕作地)」

・作家 : ピエール・ユイグ

1962年生まれ。現在ニューヨークを拠点に制作活動を行うフランス人アーティスト。2001年ヴェニス・ビエンナーレ審査員賞受賞。イスタンブール・ビエンナーレ(トルコ)、ドクメンタ(ドイツ)など国際展にも多数出展。

・特徴 : コンセプトは「人工物と自然の境界の揺らぎ」。横たわる女性の裸像(彫刻/コンクリート製)で、頭部は本物の蜂の巣になっており、実際にミツバチが生活している。

・巣の制作期間 : 2016年4月25日~ ※彫刻の部分は、既存の作品を活用

・苦労話 : 国内初の試みとなり、慎重な作業が日々続きました。特に、ミツバチの天敵スズメバチから巣を守ることと、ミツバチの活動が縮小しはじめる秋口に巣の規模を維持するのは、想像以上の苦労がありました。

・作品(展示イメージ)



※作品は会場(林原美術館)へ搬送され、来場者の安全に配慮し展示されます。

Pierre Huyghe
Exhibition view Documenta 13, Karlsruhe Park, Kassel, Germany, 2012
©Pierre Huyghe Courtesy the artist and Esther Schipper, Berlin
Photo: ©Andrea Rossetti
※左の画像を使用する場合は、上記の出典を明記ください。

◆「岡山芸術交流 2016」情報

HP参照 : <http://www.okayamaartsummit.jp/>

◇リリースに関するお問い合わせ◇

株式会社山田養蜂場 文化広報室 武本(tt1794@yamada-bee.com) / 関(ts0975@yamada-bee.com)
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194 TEL:0868-54-1906 FAX:0868-54-3346

◆展示会場の取材に関する問い合わせ◆

岡山芸術交流実行委員会事務局 広報担当 大西(090-9621-5235) / 平(090-1149-1111) / 望月(090-2445-3808)
EMAIL: press@okayamaartsummit.jp